

森づくりで協定締結

日本道路と福岡・東峰村



日本道路は10日、福岡県東峰村と森づくりに関する協定を結んだ。写真。同村が毎年開く記念植樹に参加するほか、間伐材を利用した商品開発や教材づくりなどで協力する。協定期間は2028年3

月31日まで。

眞田秀樹村長は、協定締結に感謝するとともに「水を育む森と山は非常に大事だ。しっかり手をつないで森づくりに取り組みたい」と述べた。

小楠直彦執行役員九州支店長は「環境への取り組みとして、カーボンニュートラルの実現、循環型社会の形成、生物多様性への配慮を三本柱に掲げ、重油専燃から重油と廃食油の混燃への転換などに努めている。森づくり協定が良い活動となるよう最大限の努力をしたい」と語った。

同村は、体験・交流・教育活動や癒やしの場となる森づくりを00年度に始めた。日田耶馬英彦山国定公園内の岩屋神社本殿周辺の村有地を「宝珠山百年の森」と名付け、01年3月開催の第1回植樹祭を皮切りに、下草刈り・間伐体験などを開いている。